

支所だより

東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

のびのびグリーンカーテン ～猛暑の中での優しい涼しさ～

吉岡小学校では、昨年度から校舎南側でグリーンカーテンを育てています。夏の時期、教室が大変暑いという保護者の方の声がきっかけで始まりました。

今年度も、ささく会（本校保護者有志の会）や地域の方のご指導・ご協力のもと、昨年度に引き続きグリーンカーテンを育てています。



▲土作り

5年生を中心に、5月の連休明けに設置活動を行いました。大きなプランターに入れる土作りから始めました。土が入ったプランターにゴーヤとアサガオの

東予・丹原・小松の各総合支所管内での、身近な出来事や話題などを紹介するコーナーです。

苗を植え付け、2階のベランダまで運びました。

6月の梅雨入り後は気温があまり上がらず、苗の成長具合が気になりました。学校が夏休みとなり、梅雨明けとともに夏本番を迎え、太陽を浴びながら苗たちはぐんぐんとつるを伸ばし、みごとにグリーンカーテンの帯がベランダに広がりました。

そして9月、新学期のスタート。教室の南側一面に広がった緑のカーテンが子どもたちを迎えてくれました。残暑がまだまだ続く中、目にも心にも優しいグリーンカーテンが子どもたちを見守ってくれています。



▲グリーンカーテン

丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

みんなの平和と幸せを祈って ～鞍瀬地区のジャンボぞうり作り～

7月11日、旧鞍瀬小学校体育館において、桜樹公民館主催によるジャンボぞうり作りが行われました。

桜樹地区老人クラブの指導のもと、中川スポーツ少年団員23人と保護者20人の計43人が参加し、子ども



▲作業の途中

たちは慣れない手つきで汗をかきながら、力を合わせて大きなジャンボぞうり1足を完成させました。

指導者の渡邊昭美さんによると、鞍瀬地域のジャンボぞうり作りは、江戸時代頃にこの地域で赤痢や疫癘の病気が流行したため、大きなぞう

りを作って各集落の入り口に飾り、この地域は巨人に守られていると示すことで、病気などが集落に入ってくるのを防ぐことを願ったことが起源だそうです。その後、昭和30年ごろから人口減少などの影響で一時期休止していたものの、平成8年ごろから村おこしの一環として、鞍瀬地域全体の行事として再開しました。

完成したジャンボぞうりは、8月末まで市道上落合線落合バス停と明河入口バス停付近の2カ所に飾られ、地域の方には安心安全を、市内外から訪れる方には驚きと感動を与えて鞍瀬地域をアピールしました。



▲バス停上のぞうり

小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

世界遺産化に向けて ～四国遍路～

8月1日、小松公民館で愛媛大学の胡光（えべすひかる）教授が、「四国遍路の世界遺産化に向けて」と題して講演を行いました。



▲胡光教授

四国遍路は、文化庁が今年初めて全国の文化財を地域やテーマごとに認定した18件の「日本遺産」の一つであり、1400キロに及ぶ壮大な遍路道で、1200年の歴史があります。

講演会では、四国遍路には古くから全国各地より多くの人が訪れていたことや、世界遺産化へ向けた動き

と課題について映像を交えながら分かりやすい説明がありました。132人の受講者は約2時間の講演で、四国遍路が宗教や地域を超えた日本人の「心の旅」であり、四国が世界に誇れる文化遺産であることを学びました。

今年は、明治日本の産業革命遺産が世界遺産となりましたが、ふるさと四国からも世界遺産が誕生してほしいものです。

そのためにも、私たちが四国遍路の魅力を国内外へ広く情報発信をするとともに、地域でできることについて考えていく必要があるのではないのでしょうか。



▲講演会の様子